	作成日	更新日	版	作成:	
	出力ファイル定義 2016.08.31 1 YEC フォーバルテレコム 請求書発行業務 銀行振込 3 (ID) 一方の変長レコード 形式 「可変長レコード 形式 CSV形式 文字 タブ マタブ				
業務名	フォーバルテレコム 請求書発行業務				
帳票名	銀行振込				
ファイル名(ID)					
	可変長レコード				
■ データ形式	CSV形式				
■ 区切り文字	タブ	•	•	•	
■ 文字コード	S-JIS	•	•	•	

補足説明

・顧客マスタの用紙タイプ=03・13のレコードの編集仕様

・参照マスタ

No.1~40は全用紙共通 (明細以外)

仕様変更

- 2018.07 バーチャルロ座対応 1. 参照マスタに「バーチャルロ座情報」(Key:顧客コード)を追加 2. 受取銀行情報(No.42~53)は「バーチャルロ座情報」を優先として編集する

No.	項目名	入力 データ	桁数	内容(例等)	印字 サンプル
1	帳票定義体名	_	N(30)	用紙タイプ= O 3 &パターン= C・・・「T-051A 」	
				用紙タイプ=03&パターン≠C・・・「T-051S 」	
				用紙タイプ=13&表 (宛名面) ・・・「T-047表 」	
				用紙タイプ=13&裏(明細面)・・・「T-047裏 」	
1'	パターン	_	X(1)	パターンをセット	
2	全体SEQ	_	X(9)	出カファイルごとの全体SEQを"(9999999)"に編集してセット	
3	顧客連番	_	X(7)	顧客コードごとの連番を"9999999"に編集してセット	
4	顧客内SEQ	_	X(4)	同一顧客内のSEQを"9999"に編集してセット	
5	顧客コード	顧客マスタ	X(8)	顧客コードをセット	
6	ご利用年月	顧客マスタ	X(10)	課金年月を"YYYY.MM"に編集してセット	
7	請求書発行番号	顧客マスタ	X(15)	請求書発行番号をそのままセット	
8	同封物	顧客マスタ	X(02)	同封物区分をセット	
9	発行日	顧客マスタ	X(10)	請求書発行日をセット(入稿データが"YYYY.MM.DD"編集済)	
10	再請求分	顧客マスタ	N(06)	再発行区分="Y"のとき、「【再請求分】」	
11	郵便番号	顧客マスタ	X(10)	郵便番号をそのままセット ("〒"は帳票でセット)	
12	住所	顧客マスタ	X(100)	住所をそのままセット(折り返しは帳票でセット) ※空白はエラー	
13	顧客名	顧客マスタ	X(80)	顧客名をそのままセット(折り返しは帳票でセット)	
14	担当者名	顧客マスタ	X(80)	※空白はエラー 担当者名をそのままセット(折り返しは帳票でセット)	+
	敬称(御中)	_	X(4)	担当者名が空白又はALL"0"の場合、「御中」をセット 担当者名が空白又はALL"0"でない場合、空白をセット	
16	敬称 (様)	_	X(4)	担当者名が空白又はALL"0"の場合、空白をセット 担当者名が空白又はALL"0"でない場合、「様」をセット	
17	カスタマバーコード	_	X(23)	郵便番号&住所よりYubin7で取得	
8	お支払い期限	顧客マスタ	X(10)	入金期日をセット(入稿データが"YYYY.MM.DD"編集済)	
9	ご請求額	顧客マスタ	9(9)	請求金額をそのままセット(カンマ編集は帳票で行う)	
20	非課税額	顧客マスタ	9(9)	非課税額をそのままセット (カンマ編集は帳票で行う)	
21	課税対象額	顧客マスタ	9(9)	課税対象額をそのままセット(カンマ編集は帳票で行う)	
22	代行請求額	顧客マスタ	9(9)	代行請求額をそのままセット(カンマ編集は帳票で行う)	
23	消費税額	顧客マスタ	9(9)	消費税額をそのままセット (カンマ編集は帳票で行う)	
24	問合せ窓口 1 行目	OEMマスタ	X(32)	問合せ窓口1行目をそのままセット	
25	問合せ窓口2行目	OEMマスタ	X(32)	問合せ窓口2行目をそのままセット	
26	受付時間 1 行目	OEMマスタ	X(32)	受付時間 1 行目をそのままセット	
27	受付時間2行目	OEMマスタ	X(32)	受付時間2行目をそのままセット	
28	電話番号 1 行目	顧客マスタ OEMマスタ	X(32)	顧客マスタのFTフォン有無フラグ="Y": 受付電話番号 1 $-$ 1 行目をそのままセット顧客マスタのFTフォン有無フラグ≠"Y": 受付電話番号 2 $-$ 1 行目をそのままセット	
29	電話番号 2 行目	顧客マスタ OEMマスタ	X(32)	顧客マスタのFTフォン有無フラグ="Y": 受付電話番号1-2行目をそのままセット 顧客マスタのFTフォン有無フラグ≠"Y": 受付電話番号2-2行目をそのままセット	
30	メッセージ	OEMマスタ	X(80)	お客様サイト有無FLG="Y"のとき、メッセージをセット	
31	URL	OEMマスタ	X(64)	お客様サイト有無FLG="Y"のとき、「お客様サイト:」&URLをセット	
32	ログイン I D	顧客マスタ	X(30)	お客様サイト有無FLG="Y"のとき、「お客様のログインID:」&顧客コードをセット	
33	ログインメッセージ	メッセーシ゛ファイル	X(26)	 お客様サイト有無FLG="Y"のとき、メッセージファイルの内容をそのままセッ ト	,
34	備考コメント	備考コメント	X(270)	備考コメントをそのままセット(折り返しは帳票でセット)	

1

	作成日	更新日	版	作成:	
	出力ファイル定義	2016.08.31		1	YEC
業務名	フォーバルテレコム 請求書発行業務				
帳票名	銀行振込				
ファイル名(ID)					
■ レコード形式	可変長レコード				
■ データ形式	CSV形式				
■ 区切り文字	タブ				
■ 文字コード	S-JIS		•		•
補足説明					
·	フスタの田絣タイプ=03・13のレコードの編集仕様				

・顧客マスタの用紙タイプ=03・13のレコードの編集仕様

・参照マスタ

No.1~40は全用紙共通 (明細以外)

仕様変更

2018.07 バーチャルロ座対応 1. 参照マスタに「バーチャルロ座情報」(Key:顧客コード)を追加 2. 受取銀行情報(No.42~53)は「バーチャルロ座情報」を優先として編集する

No. 項目名	入力 データ	桁数	内容(例等)	印字 サンプル
35 内訳 1 行目 利用月	顧客マスタ	X(22)	請求年月1が空白又はALL"0"の場合、空白 以外の場合、請求年月1を"YYYY年 M月利用分"に編集し、全角でセット	
36 内訳 1 行目 請求額	顧客マスタ	X(28)	請求年月1が空白又はALL"0"の場合、空白 以外の場合、請求額1を",9円"に編集し、全角でセット	
37 内訳 2 行目 利用月	顧客マスタ	X(22)	請求年月2が空白又はALL"0"の場合、空白 以外の場合、請求年月2を"YYYY年 M月利用分"に編集し、全角でセット	
38 内訳 2 行目 請求額	顧客マスタ	X(28)	請求年月2が空白又はALL"0"の場合、空白 以外の場合、請求額2を",9円"に編集し、全角でセット	
39 内訳 3 行目 利用月	顧客マスタ	X(22)	請求年月3が空白又はALL"0"の場合、空白 以外の場合、請求年月3を"YYYY年 M月利用分"に編集し、全角でセット	
40 内訳 3 行目 請求額	顧客マスタ	X(28)	請求年月3が空白又はALL"0"の場合、空白 以外の場合、請求額3を",9円"に編集し、全角でセット	
41 電話番号	顧客マスタ	X(13)	電話番号をセット	
12 銀行名	パーチャルロ	X(40)	銀行名1をセット	
3 支店名	ハーチャルロ	X(40)	銀行名2をセット	
14 預金種目(普通)	ハーチャルロ	X(2)	預金種目=1の場合、"○"、預金種目≠1の場合、空白	
45 預金種目(当座)	ハーチャルロ	X(2)	預金種目=2の場合、"○"、預金種目≠2の場合、空白	
46 口座番号	ハーチャルロ	X(7)	口座番号をセット	
47 受取人 (カナ)	ハーチャルロ	X(34)	受取人(カナ)をセット	
48 受取人氏名 1	ハーチャルロ	X(38)	受取人氏名 1 をセット	
49 受取人氏名 2	ハーチャルロ	X(38)	受取人氏名2をセット	
50 受取人住所 1	ハーチャルロ	X(40)	受取人住所 1 をセット	
51 受取人住所 2	ハーチャルロ	X(40)	受取人住所2をセット	
52 受取人住所3	ハーチャルロ	X(40)	受取人住所3をセット	
53 受取人電話番号	ハーチャルロ	X(20)	受取人電話番号をセット	
54 はがき画像 1 (宛名面)	_	X(50)	画像ファイル保存フォルダのパス+"FH"+OEMコード+". bmp"	
55 はがき画像 2 (明細面上)	_	X(50)	画像ファイル保存フォルダのパス+"FI"+0EMコード+". bmp"	
56 封書画像 1 (右上)	_	X(50)	画像ファイル保存フォルダのパス+"FA"+OEMコード+". bmp"	
57 封書画像 2 (中)	_	X(50)	画像ファイル保存フォルダのパス+"FB"+0EMコード+". bmp"	